

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画(第3回変更)

ヒ タ シ チュウシン シ ガ イ チ チ ク ト シ サ イ セ イ セ イ ビ ケ イ カ ク
日田市中心市街地地区都市再生整備計画

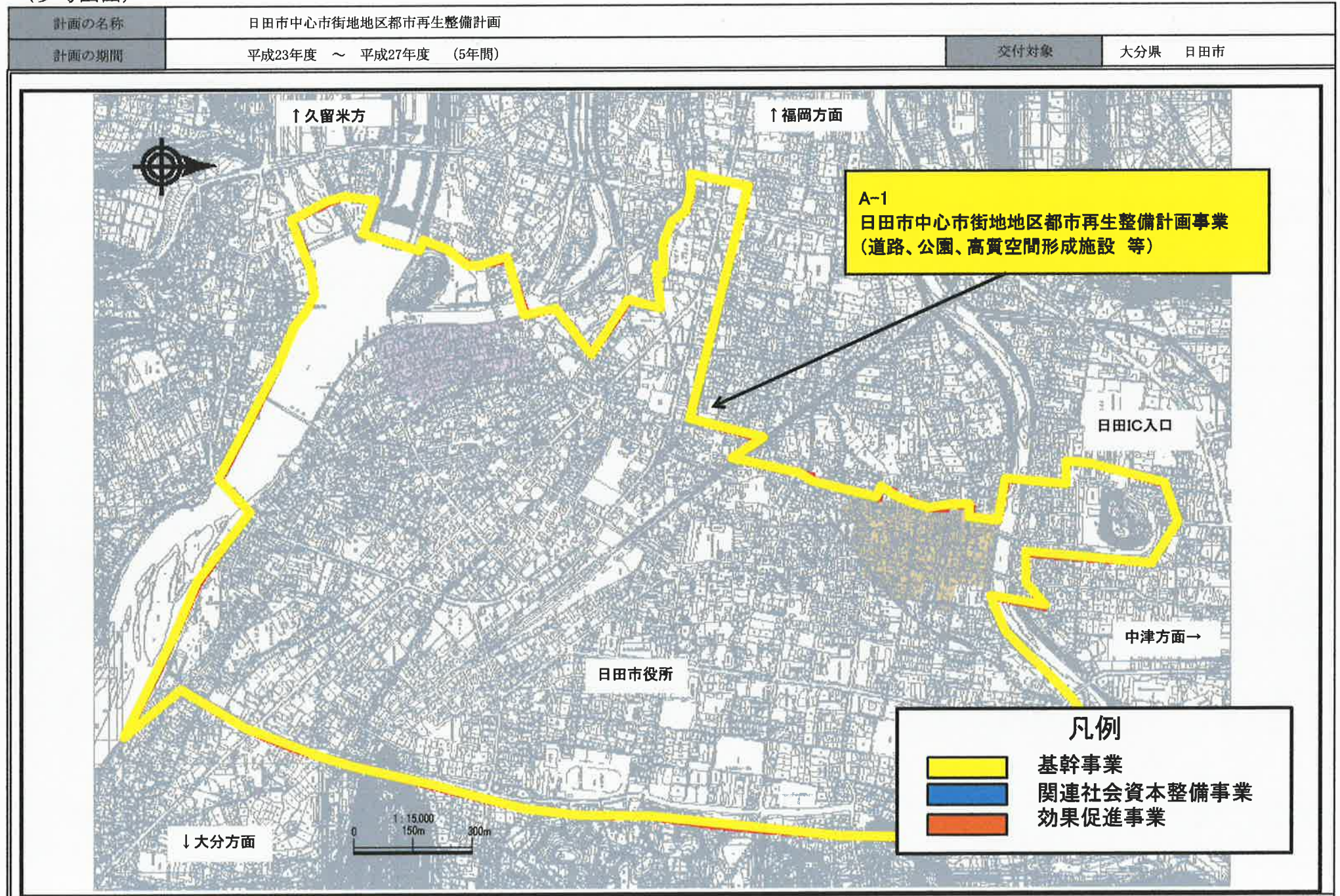
平成26年11月28日

大 分 県 日 田 市

社会資本総合整備計画

計画の名称		日田市中心市街地地区都市再生整備計画																	
計画の期間		平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）				交付対象		大分県 日田市											
計画の目標																			
大目標：歴史・観光を切り口に、豊かで特色ある地域資源を活かした中心市街地の賑わいの創出																			
目標1：温泉街や三隈川などの地域資源が豊富な限地区の再生。																			
目標2：歴史・観光拠点としての豆田地区の魅力強化。																			
計画の成果目標（定量的指標）																			
【日田温泉の宿泊客数】減少基調にある宿泊者数を「歴史・観光拠点」としての環境整備により、減少抑制を図る。（H27見込 63,000人）																			
【豆田地区への来街者数】「歴史・観光拠点」としての環境整備により豆田の魅力をアップさせ、減少させることなく来街者60万人を維持する。																			
【豆田地区の通行者数】周辺部や地区内の環境整備により、アクセス及び回遊性を向上させ通行者数の減少抑制を図る。（H27見込 1,740人）																			
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の従前値及び目標値			備考										
						従前値		目標値											
						(H21)		(H27)											
【日田温泉の宿泊客数】 観光動態調査による日田温泉宿泊客数						77,718人/年		70,000人/年											
【豆田地区への来街者数】 当地区に立ち寄る観光客数						592,134人/年		600,000人/年											
【豆田地区の通行者数】 通行量調査による御幸通りと上町通りの通行者数						1,967人/9h		1,770人/9h											
全体事業費		合計 (A+B+C)		1,945.5百万円		A		1,945.5百万円		B		C		0百万円		効果促進事業費の割合 (A（提案分）+C) / (A+B+C)		0.0%	
交付対象事業																			
A1 基幹事業（市街地整備）																			
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考				
A1-1	都市再生	一般	日田市	直接	日田市	日田市中心市街地地区都市再生整備事業	竹田公園整備事業 他 323.3ha	日田市	H23	H24	H25	H26	H27	1,945.5					
合計														1,945.5					
B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考				
									H23	H24	H25	H26	H27						
合計														0.0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考				
C 効果促進事業																			
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考				
									H23	H24	H25	H26	H27						
合計														0.0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考				

(参考図面)



都市再生整備計画(第3回変更)

日田市中心市街地 地区

おおいたけん ひ た し
大分県 日田市

平成26年11月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大分県	市町村名	ひ た し 日田市	地区名	ひ た し ち ゅ う し ん し が い ち 日田市中心市街地 地区	面積	323.3 ha				
計画期間	平成	23 年度	～	平成	27 年度	交付期間	平成	23 年度	～	平成	27 年度

目標
大目標:歴史・観光を切り口に、豊かで特色ある地域資源を活かした中心市街地の賑わいの創出
目標1:温泉街や三隈川などの地域資源が豊富な隈地区の再生。
目標2:歴史・観光拠点としての豆田地区の魅力強化。

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況
日田市の中心市街地は、三つの区域(中央、豆田、隈)で形成されている。中央地区は、交通、商業・文化機能が集積した市民生活の拠点地区である。一帯は、土地区画整理事業等により街並みが整備され、賑わいを見せてきたが、近年は居住人口の減少や空き店舗の増加等で空洞化が進んでいる。中央地区を南北に挟む豆田地区や隈地区は、旧市街地として歴史的佇まいの溢れる地区であり、中でも豆田地区は、昭和50年代から歴史的な町並みを活かしたまちづくりが官民協働で展開され、平成16年には、国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受け、今日では多くの観光客が訪れる本市の観光拠点となっている。一方、三隈川沿いに温泉旅館が立地している隈地区は、歴史的町並みと水辺環境を活かした観光の活性化や商業機能の強化が求められる地区である。 このような状況の中、平成17年度～平成21年度にかけてまちづくり交付金を活用して、各種施設整備や成宜園研究センター整備事業など、歴史的町並み景観の形成と拠点整備により豆田地区では観光客の増加が図られたが、中央地区・隈地区への回遊が図られず、総合的なまちづくりが引き続き求められている。
課題
・市民文化会館建設や中央公園整備、本庄元町線等のインフラ整備を中央地区の商店街活性化に繋げていく必要がある。 ・豆田地区の無電柱化事業や伝統的建造物修復事業、月隈公園内の園路整備等により観光客の増加が図られたが、この観光客を隈地区や中央地区、市内各地区へ回遊させる必要がある。 ・隈地区は豆田地区に比べると観光客数も少なく、今後はさらに「水郷ひた」の象徴である三隈川を活用した光の演出や新たな賑わいの創出を促進していく必要がある。 ・豆田地区、中央地区、隈地区の回遊性を向上させるとともに、徒歩や自転車での移動を視野に入れ、各地域間に見所箇所等の整備を促進していく必要がある。また、中央地区においては、街独自の魅力を模索し、活性化を促進させる必要がある。
将来ビジョン(中長期)
当計画地域の範囲は、「日田市中心市街地活性化基本計画」(平成12年3月策定)に基づいたものであり、計画では、日田市の「顔」となる魅力ある市街地の空間形成や多様な商業機能の充実強化のため、歴史的な豆田地区と隈地区、及び中央地区での観光交流の活発化、交通拠点の整備などが位置付けられている。 また、市町村合併時に策定された「新市建設計画」でも、「市街地形成ゾーン」として、歴史・観光拠点、行政・文化・福祉拠点として位置づけ、さらに「第5次日田市総合計画」(平成19年3月策定)では、将来の都市像を「人と自然が共生し、やすらぎ・活気・笑顔に満ちた交流都市」と定め、中心市街地は、「特色ある地域区間の創出」を基本とし、地域資源を生かした魅力あふれる温泉街や自然体験交遊拠点等の整備を図ることにしている。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
				基準年度		目標年度	
日田温泉の宿泊客数	人	観光動態調査による日田温泉宿泊客数	減少基調にある宿泊者数を「歴史・観光拠点」としての環境整備により、減少抑制を図る。(H27見込 63,000人)	77,718人／年		70,000人／年	
豆田地区への来街者数	人	当地区に立ち寄る観光客数	「歴史・観光拠点」としての環境整備により豆田の魅力アップさせ、減少させることなく来街者60万人を維持する。	592,134人／年		600,000人／年	
豆田地区の通行者数	人	通行量調査による御幸通りと上町通りの通行者数	周辺部や地区内の環境整備により、アクセス及び回遊性を向上させ通行者数の減少抑制を図る。(H27見込 1,740人)	1,967人／9h		1,770人／9h	

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
■整備方針1(温泉街や三隈川などの地域資源が豊富な隈地区の再生) ・「歴史・観光拠点」として、隈地区観光再生を実施する。 ・景観形成重点地区の建造物や工作物について、伝統的様式に復元あるいは修景するための指導や助成を行う。	→三隈川周辺ライトアップ事業(基幹事業/高質空間形成施設) →竹田公園整備事業((基幹事業/公園) →竹田公園内線整備(基幹事業/道路) →屋形船修復事業(提案事業/地域創造支援事業) →隈地区街なみ環境整備事業(関連事業/社会資本整備総合交付金事業)
■整備方針2(豆田地区の魅力強化及び伝統的町並み環境整備) ・歴史的風致を顕在化活用するために、史跡保存整備等を行う。 ・伝建地区や景観形成重点地区の建造物や工作物について、伝統的様式に復元あるいは修景するための指導や助成を行う。 ・来街者が快適に訪れることができ、また快適に回遊できるように周辺地域にトイレ、休憩所、広場の整備を行う。	→史跡咸宜園跡整備事業(関連事業/市) →月隈公園整備事業(基幹事業/公園) →豆田町伝統的建造物群保存地区(関連事業/文化庁・市)、 →豆田地区街なみ環境整備事業(関連事業/社会資本整備総合交付金事業) →中城多目的広場整備事業(基幹事業/地域生活基盤施設) →豆田地区公衆トイレ改修事業(基幹事業/高質空間形成施設) →豆田地区小休憩所整備事業(基幹事業/地域生活基盤施設) →桂林荘公園トイレ整備事業(基幹事業/高質空間形成施設)
■整備方針3(中心市街地での回遊性を形成) ・歩行者や自転車等が快適に中心市街地を回遊できるように公園や道路、まちかどの整備、美装化を行う。 ・来街者に対して、位置や方向、あるいは施設の歴史などの情報を提供するための整備を行う。 ・歩行者や自転車にとって道路を快適に維持する市民活動を促進する。 ・豆田地区と隈地区の間に、2地区を結ぶ拠点を整備することで回遊性を向上させる。	→市道中央通り線整備事業・市道駅前線整備事業(基幹事業/道路) →街路灯整備事業(基幹事業/高質空間形成施設) →JR日田駅トイレ改築事業(基幹事業/高質空間形成施設) →都市計画道路友田大原線整備事業(関連事業/社会資本整備総合交付金事業) →都市計画道路丸山五和線整備事業(関連事業/県) →案内板設置整備(基幹事業/地域生活基盤施設) →市内道路等(関連事業/アダプトプログラム) →複合文化施設整備事業(基幹事業/高次都市施設)(提案事業/地域創造支援事業)
その他	

<都市再生整備計画の整備方針等>

【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・「計画区域の整備方針」欄は、目標を達成するために具体的に何をするのかを簡潔に箇条書きするとともに、欄の右にある「方針に合致する主要な事業」欄に、本計画に位置付けられている事業のうち当該整備方針に合致する主要な事業の事業名を記入すること(1つの事業が複数の方針に合致することもあり得る)。
- ・「その他」欄は、都市再生整備計画に関する事項として、特筆すべき内容があれば記載してください。
- ・その他記載にあたっての留意事項は、「都市再生整備計画策定の手引き」を参照すること。

交付対象事業費		1,945.5	交付限度額	669	国費率	0.344	(金額の単位は百万円)							
基幹事業														
事業 細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費	
					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路	市道中央通り線	日田市	直	延長260m	H23	H26	H23	H26	108.3	108.3	108.3		108.3	
	市道駅前環線	日田市	直	延長230m	H25	H27	H25	H27	117.0	117.0	117.0		117.0	
	市道竹田公園内線	日田市	直	延長500m	H24	H26	H24	H26	84.0	84.0	84.0		84.0	
道路(都市再構築戦略事業)														
公園	竹田公園	日田市	直	面積21,500㎡	H24	H27	H24	H27	447.4	447.4	247.0		447.4	
	月隈公園	日田市	直	面積2,700㎡	H27	H27	H27	H27	53.0	53.0	53.0		53.0	
公園(都市再構築戦略事業)														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設	案内板設置	日田市	直	20箇所	H27	H27	H27	H27	12.0	12.0	12.0		12.0	
	豆田地区小休憩所	日田市	直	面積20㎡	H26	H26	H26	H26	1.0	1.0	1.0		1.0	
	中城多目的広場	日田市	直	面積177㎡	H26	H27	H26	H27	35.3	35.3	35.3		35.3	
	三隈川周辺ライトアップ整備	日田市	直	—	H23	H26	H23	H26	53.0	53.0	53.0		53.0	
高質空間形成施設	JR日田駅トイレ改築事業	日田市	直	面積58㎡	H27	H27	H27	H27	40.0	40.0	40.0		40.0	
	街路灯整備(中央商店街)	中央商店街振興組合	間	65基	H24	H25	H24	H25	58.0	58.0	58.0		58.0	
	街路灯整備(駅前通り商店街)	駅前通り商店街振興組合	間	70基	H26	H27	H26	H27	67.8	67.8	67.8		67.8	
	豆田地区公衆トイレ改修	日田市	直	1箇所	H26	H26	H26	H26	19.0	19.0	19.0		19.0	
	桂林荘公園トイレ整備事業	日田市	直	1箇所	H26	H26	H26	H26	10.8	10.8	10.8		10.8	
	複合文化施設整備事業	日田市	直	面積4,517㎡	H27	H27	H27	H27	97.5	97.5	97.5		97.5	
高次都市施設														
中心拠点誘導施設														
生活拠点誘導施設														
高齢者交流拠点誘導施設														
既存建造物活用事業(中心拠点誘導施設)														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
市街地再開発事業														
バリアフリー環境整備事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計									1,204.1	1,204.1	1,003.7	0.0	1,204.1	
提案事業(継続地区の場合のみ記載)														
事業 細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費</				

...A

...B

(参考)関連事業

[illegible]

都市再生整備計画の区域

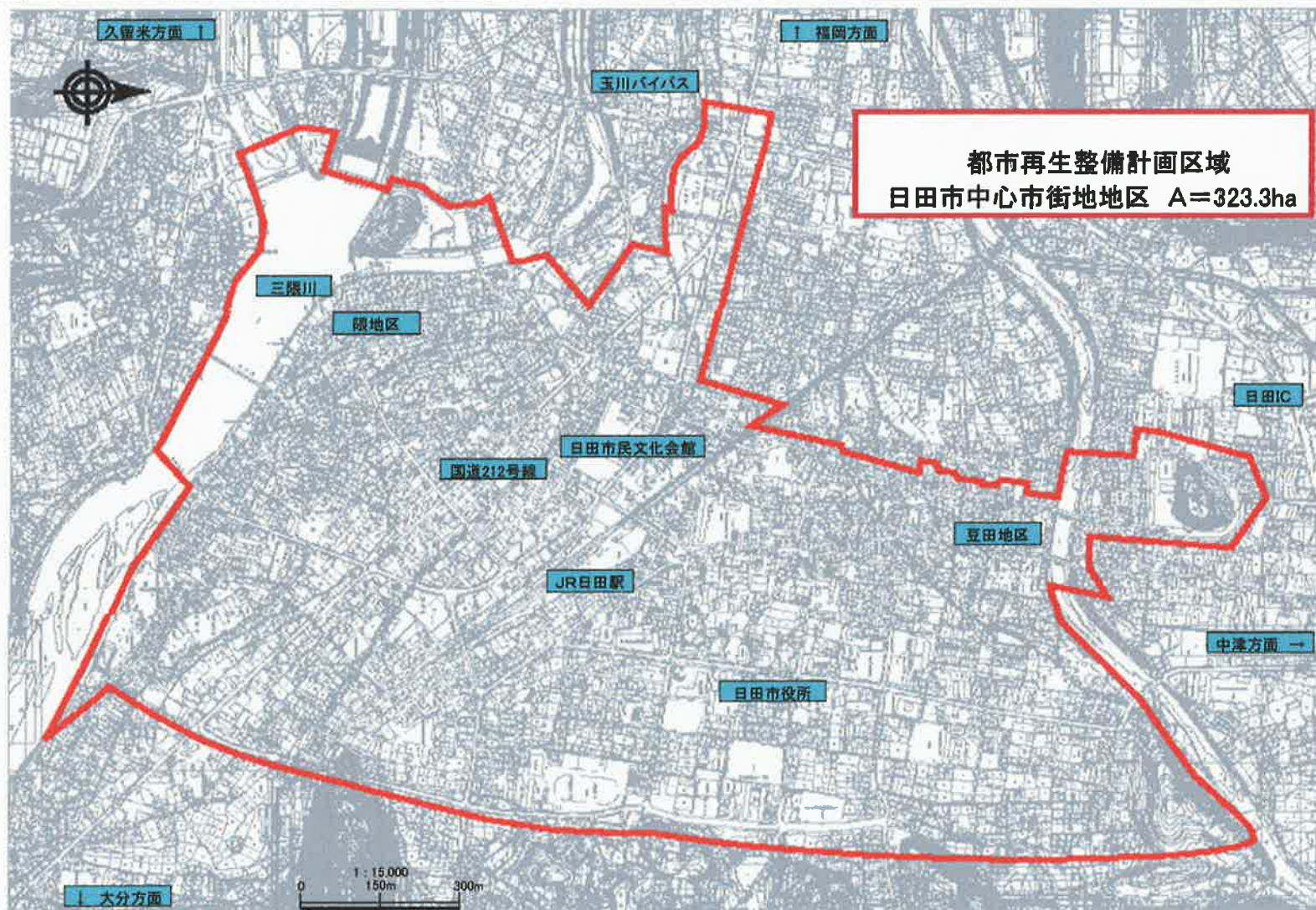
日田市中心市街地 地区(大分県日田市)

面積

323.3 ha

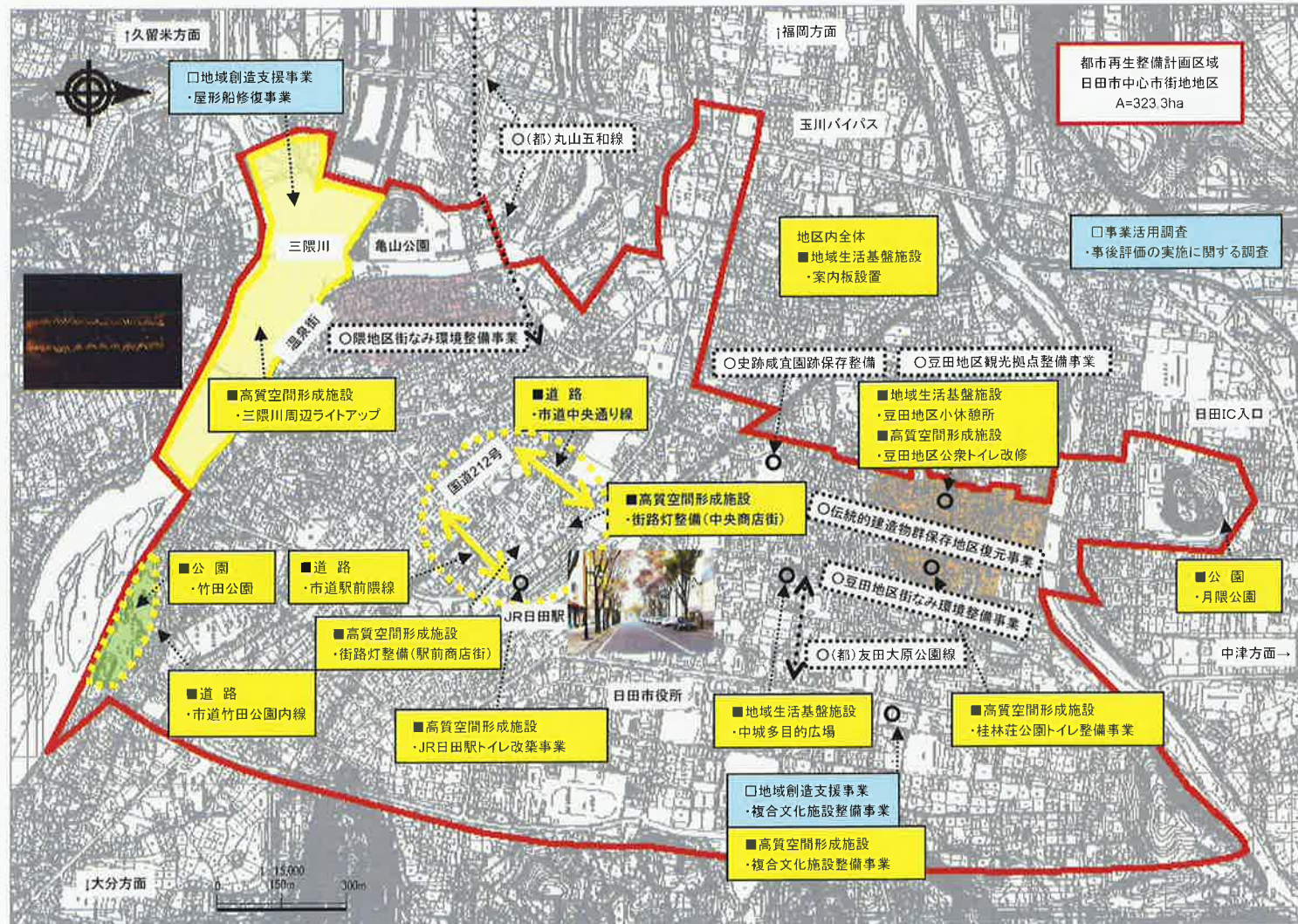
区域

丸山1・2丁目、豆田町、城町1丁目、港町、中城町、淡窓1・2丁目、元町、中央1・2丁目、本町、中本町、東町、隈1・2丁目、川原町、若宮町、田島1丁目、田島2丁目、上城内町、日の出町、京町、銭淵町等



日田市中心市街地地区(大分県日田市) 整備方針概要図

目標	歴史・観光を切り口に、豊かで特色ある地域資源を活かした中心市街地の賑わいの創出	代表的な指標	日田温泉の宿泊客数 (人/年)	77,718 (H21年度) → 70,000 (H27年度)
			豆田地区の通行者数 (人/9h)	1,967 (H21年度) → 2,000 (H27年度)



凡 例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業

都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

ひたし 日田市 ちゅうしん 中心市街地 しがいち 地区 ちく （おおいた 大分県 ひたし 日田市）

中心市街地地区(大分県日田市) 現況図

都市再生整備計画区域
日田市中心市街地地区 A=323.3ha



交付限度額算定表(その1)

日田市中心市街地地区(大分県日田市)

要綱第5に掲げる式による交付限度額(X)	668.9 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	80,877.0 百万円	X≦Yゆえ、本計画における交付限度額	668.9 百万円
----------------------	-----------	-----------------------	--------------	--------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au	1,454,850 m ²
----	--------------------------

公共施設の上限整備水準

区域面積(m ²)	3,233,000
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	0.50
○	0.45
○	0.40

Cl	231,900 円/m ²
----	--------------------------

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	2
公示価格の平均値(円/m ²)	73,500

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	0.001
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf	23,000 円/m ²
----	-------------------------

控除額	2,387 百万円
-----	-----------

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
街なみ環境整備		1260
友田大原公園緑		810
史跡咸宜園跡保存整備		317
合計	0	2387

要綱第5に掲げる式による限度額算定

<社会資本整備総合交付金>

交付対象事業費	基幹事業(A)	1,204.1 百万円
	提案事業(B)	741.4 百万円
	合計	1,945.5 百万円

Ap	810,900 m ²
----	------------------------

公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m ²)	0

個別公共施設の積み上げ

	面積(m ²)	割合
道路	407,400	0.13
公園	302,700	0.09
広場	50,400	0.02
緑地	50,400	0.02
公共施設合計	810,900	0.25

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1)	80877 百万円
----------------------	-----------

ΣCn	0 円
-----	-----

下水道	0 円
区域面積(m ²)	3,233,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物)	0 円
上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	453,500

調整池	0 円
調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川	0 円
河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設	0 円
------	-----

建設予定戸数(戸)	超高層	
	一般	
	合計	0
標準整備費(円/戸)	超高層	一般
	北海道特別地区	41,310,000 33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000 30,990,000
	特別地区	49,120,000 35,690,000
	大都市地区	37,170,000 30,180,000
	多雪寒冷地区	41,510,000 32,370,000
	奄美地区	39,520,000 35,640,000
	沖縄地区	30,280,000 30,280,000
	一般地区	33,700,000 28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物	0 円
------------------	-----

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等	0 円
--------	-----

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤	0 円
------	-----

人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等	0 円
------------------	-----

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2)	80877 百万円
---------------------	-----------

[1]式	$\alpha 1=4(A+B)/5=$	1.556
[2]式	$\alpha 2=10A/9=$	1.338
	交付限度額(X)	668.9 百万円

- 交付要綱第5 3)式の適用[提案事業2割拡充]
- 平成20年度二次補正予算の執行
- 交付要綱第5 4)式の適用[中活等の45%拡充]
- 交付要綱第5 5)式・6)式の適用[リノベ事業の50%拡充]

交付限度額算定表(その2)

日田市中心市街地地区 (大分県日田市)

交付要綱第5に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位)

単位:百万円

○交付対象事業費(必ず入力)

(百万円)

(百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	1,204.100	A (事業費)
	提案事業合計(B)	741.400	B (事業費)
	合計(A+B)	1,945.500	(事業費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.382	

1)式で求まる額(4/10*(A+B))	778.200	① (国費)
2)式で求まる額(5/9*A)	668.944	② (国費)
上記①、②の小さい方	668.944	③ (国費)
国費率(③÷(A+B))	0.344	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。

・3)式の適用[提案事業2割拡充]		(選択)
・平成20年度二次補正予算の執行		(選択)
・4)式の適用[中活等の45%拡充]		(選択)

3)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
3)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	668.944	⑥ (国費)
3)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.344	⑦ (国費率)

○拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正 の執行がある場合	防災対象事業(A')		A' (事業費)
	補正予算の執行額		(国費)

③をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A')	668.944	⑧ (国費)
執行額を足した額	668.944	⑨ (国費)
補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	668.944	⑩ (国費)
補正適用後の国費率(⑩÷(A+B))	0.344	⑪ (国費率)

4)式の適用を受ける 場合	計画の認定等の年度末までの執行 事業費(F)		F (事業費)
	適用対象となる交付対象事業費 (A''+B'')	0.000	(事業費)
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)
	適用対象事業のうち翌年度以降の 執行事業費(H)		H (事業費)

適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.344	⑫ (国費率)
適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑬ (国費)
適用後の国費率(⑬÷(A''+B''))	#DIV/0!	⑭ (国費率)
4)式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)	#DIV/0!	⑮ (国費)

※4)式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓

拡充も考慮した交付限度額	668.944	⑯ (国費)
--------------	---------	--------

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	1,945.5	(事業費)
--------------	---------	-------

交付要綱第5に基づく交付限度額 (⑯を1万円の位を切り捨て)	668.9	⑰ (国費)
国費率	0.344	⑱ (国費率)

様式8 年次計画

(事業費:白力円)

基幹事業

事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
道路	市道中央通り線	日田市	108.3	8.0	40.0	39.3	21.0	
	市道駅前隈線	日田市	117.0			7.0	55.0	55.0
	市道竹田公園内線	日田市	84.0		10.0	0.0	74.0	
公園	竹田公園	日田市	447.4		16.0	0.0	189.0	242.4
	月隈公園	日田市	53.0				0.0	53.0
古都及び緑地保全事業								
河川								
下水道								
駐車場有効利用システム								
地域生活基盤施設	案内板設置	日田市	12.0					12.0
	豆田地区公衆トイレ改修	日田市	19.0				19.0	
	中城多目的広場	日田市	35.3				11.0	24.3
高質空間形成施設	三隈川周辺ライトアップ整備	日田市	53.0	10.0	22.0			21.0
	街路灯整備(中央商店街)	中央商店街振興組合	58.0		30.0	28.0		
	街路灯整備(駅前通り商店街)	駅前通り商店街振興組合	67.8				33.0	34.8
	豆田地区小休憩所整備	日田市	1.0				1.0	
	桂林荘公園トイレ整備事業	日田市	10.8				10.8	
	JR日田駅トイレ改築事業	日田市	40.0					40.0
	複合文化施設整備事業	日田市	97.5					97.5
高次都市施設								
既存建造物活用事業								
中心拠点誘導施設								
生活拠点誘導施設								
高齢者交流拠点誘導施設								
土地区画整理事業								
市街地再開発事業								
住宅街区整備事業								
地区再開発事業								
バリアフリー環境整備促進事業								
優良建築物等整備事業								
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型							
	沿道等整備型							
	密集住宅市街地整備型							
	耐震改修促進型							
街なみ環境整備事業								
住宅地区改良事業等								
都心共同住宅供給事業								
公営住宅等整備								
都市再生住宅等整備								
防災街区整備事業								
計			1,204.0	18.0	118.0	74.3	413.8	580.0

提案事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業	細項目								
地域創造	屋形船修復事業	隈地区	日田遊船共同組合	72.0			20.0	26.0	26.0
支援事業	複合文化施設整備事業	中央公民館	日田市	664.5					664.5
事業活用 調査	事後評価の実施に関する調査		日田市	5.0					5.0
まちづくり 活動推進事 業									
計				741.5	0.0	0.0	20.0	26.0	695.5
合計				1945.5	18.0	118.0	94.3	439.8	1275.5
累計進捗率 (%)					0.9%	7.0%	11.8%	34.4%	100.0%

道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 注1)	事業 主体	事業 手法 注2)	工種	延長 m	幅員		整備後 車線数 車線	歩道 幅員 m	まち交 事業費 百万円	まち交における 事業期間 (年度)	事業内容 注3)	都市計画 決定 年月	備 考 注4)
							整備前 m	整備 m							
<道路>				-											
市道中央通り線	旧岩田屋 ～ 国道212号	地	市	-	舗装	260	16	16	2	3.5	108	H23-26年度	構造/工法:排水性アスファルト舗装 細工種:土工一式 舗装工一式 側溝工一式	-	
市道駅前隈線	日田駅前 ～ 国道212号	地	市	-	舗装	230	25	25	2	4	117	H25-27年度	構造/工法:排水性アスファルト舗装 細工種:土工一式 舗装工一式	-	
市道竹田公園内線	竹田公園内	地	市	-	舗装	500	5.5	5.5	2	-	84	H24-26年度	構造/工法:排水性アスファルト舗装 細工種:土工一式 舗装工一式	-	

(参考)

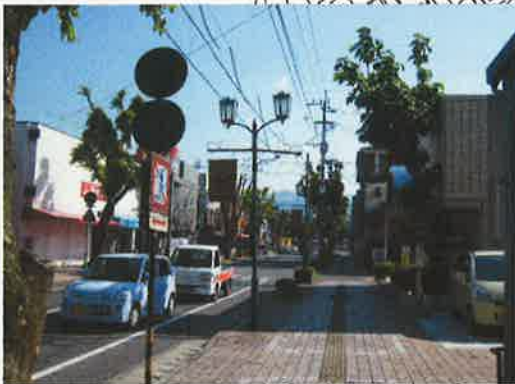
<関連事業>															
(都)丸山五和線	R210 ～ R386	街	県	-	改良	774	-	16	2	3.5	-	H4-H24	構造/工法:アスファルト舗装 細工種:土工一式 舗装工一式	H6.12.27	
(都)友田大原公園線	市道平和通り線 ～ 県道日田玖珠線	街	市	-	改良	270	-	20	2	5	-	H22-H27	構造/工法:アスファルト舗装 細工種:土工一式 舗装工一式	H6.12.27	

* 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。
注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。
 <関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。
 ただし、街:街路、地:地方道(市町村道)、国:国道、主:主要地方道、一:一般都道府県道、市:市町村道、他:いずれにも該当しないもの
注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。
注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名
注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人/日)、混雑度等を記載
 (例)・道路改築:交通量(人/日)、混雑度等
 ・自転車駐車場:都市計画決定の有無、面積、利用台数等
* 交付対象事業「道路」を「身近なまちづくり支援街路事業」等のいわゆるグレードアップ事業として実施する場合は、それらの計画様式を次頁以降に添付すること。
* 不足する場合は適宜行を追加すること

道路

市道 中央通り線

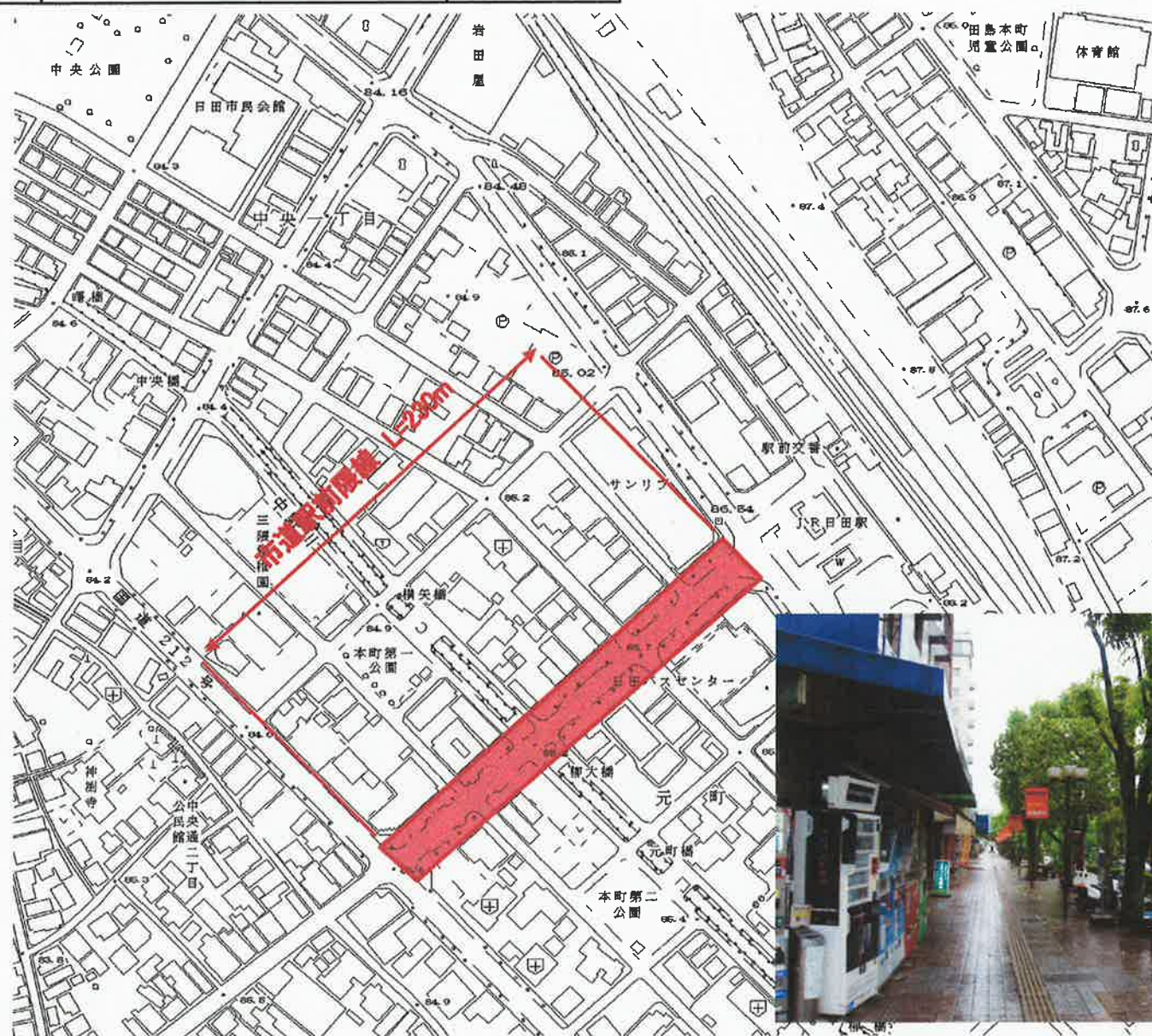
平面图

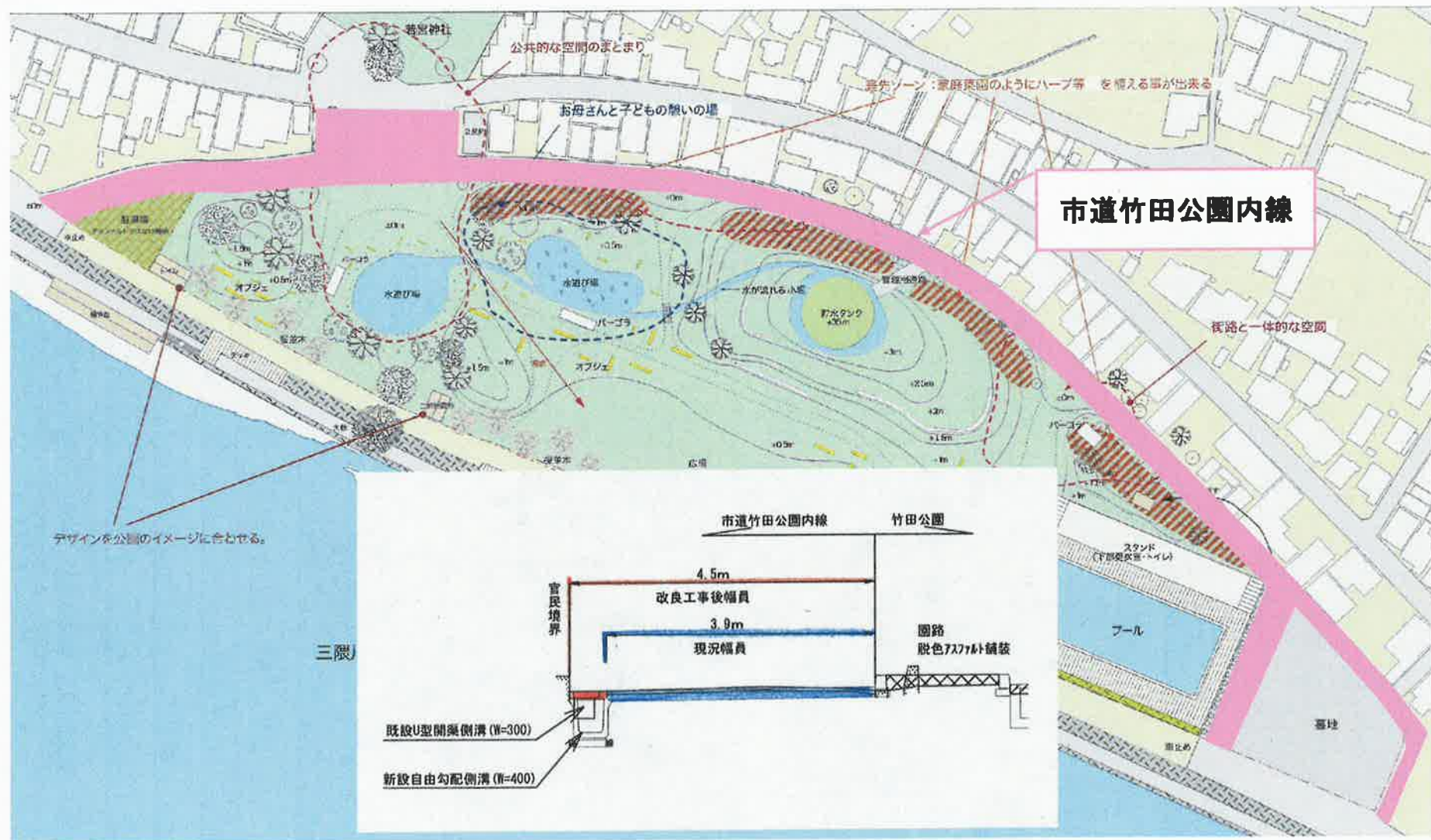


道路

駅前限線

平面図





公園(都市公園:その1)

ふりがな		ただけこうえん		当初の都市計画決定 (*4)	S27年 3月31日	事業期間	平成24年度～平成27年度	施策公園名 (*5)		
公園名又は地区名		竹田公園		直近の都市計画変更 (*4)	H25年10月 9日	(完成予定年度)	平成27年度			
種別 (*1)	近隣公園			当初の事業認可取得時期 (*4)	年 月 日	全体事業費				
計画面積(ha) (*2)	2.12	供用済み面積(ha) (*3)	2.12	直近の事業認可取得時期 (*4)	年 月 日	※単独費等も含んだ総事業費	447.4百万円			
地区交付事業の場合は、Ⅰ～Ⅱのうち該当する事業に○を付けて必要事項を記入する。										
公園又は地区の概要(目的、計画概要)										
竹田公園は、市街地の南に位置する若宮町にあり、三隈川堤防沿いに沿って東西に細長く伸びた三日月状の公園であり、昭和28年6月の大水害により流失したが、現在の公園は昭和36年災害復旧の河川改修により区域を縮小して整備し開設した公園である。 川の土手のムクの木と園内のエノキの巨木が並び、三隈川と一体になった散策の場・憩いの場として、市民に親しまれており、園内には相撲場・庭球場・プール・児童遊戯施設をはじめ、休憩所・噴水が設置されている。また、吉野桜・八重桜が植えられており、春は花見の出来る公園である。										
Ⅰ 緑化重点地区総合整備事業 () (*6)					Ⅱ 中心市街地活性化広場公園整備事業 () (*6)					
地区の位置づけ		緑の基本計画の策定期		年 月	商業地域面積		広場公園地区に占める商業地域及び近隣商業地域の割合		%	
() ①都市景観形成地区(都市の中心駅周辺、官公庁街や商業・業務の中心等都市の拠点となる地域であり、景観形成のために緑地の整備と緑化を行う必要性が特に高い地区)					ha		中心市街地基本計画策定期		年 月	
					近隣商業地域面積		地区に占める35DID区域の面積と割合			
					ha		ha	%		
					Ⅰ、Ⅱの事業地区において整備を実施する都市公園等					
() ②都市環境改善地区(クールアイランドや風の道の形成などによる都市のヒートアイランド現象の緩和、河川等と一体となったエコロジカルネットワークの形成など、都市環境の改善のために重点的に緑地の整備と緑化を行う必要性が特に高い地区)					公園等名	種別等 (*7)	面積(m ²)	公園等名	種別等 (*7)	面積(m ²)
() ③防災機能向上地区(避難地の面積が十分に確保できていない等防災上課題があり、緊急的に延焼防止帯等となる緑地の確保及び市街地の緑化を行う必要性が特に高い地区)										

事業箇所ごとに1枚作成すること。ただし、地区採択事業の場合は、地区ごとに1枚とする。

*1 「種別」の欄には、「街区公園」、「近隣公園」、「地区公園」、「特定地区公園」、「総合公園」、「運動公園」、「広域公園」、「レクリエーション都市」、「風致公園」、「墓園」、「緩衝緑地」、「都市緑地」、「緑道」のいずれかを記入。

地区交付事業の場合は、緑重1(緑化重点地区総合整備事業のうち①、②の要件に係るもの)、緑重2(緑化重点地区総合整備事業のうち③の要件に係るもの)、緑重3(中心市街地活性化広場公園整備事業)と記入。

*2 地区交付事業の場合は、地区面積を記入。(単位:ha)

*3 まちづくり交付金事業実施以前の供用済み面積を記載。地区交付事業の場合は、地区内で事業を行う都市公園に係る供用面積の合計を記入。(単位:ha)

*4 地区交付事業の場合は、記入不要。

*5 国が定める政策課題に対応する個別補助事業の対象となる都市公園である場合は、「防災公園」、「自然再生緑地」、「歴史・観光関連公園」、「イベント関連公園」、「大規模公園」のいずれかを記入。

*6 地区交付事業の場合、Ⅰ、Ⅱのどちらの要件に該当するか○を記入する。地区交付事業でない場合は、記入不要。

*7 緑化重点地区総合整備事業において、都市公園以外の公共公益施設の緑化を行う場合は、当該施設名称を記入。(小学校、市庁舎等)

その他:地区交付事業の設計図(平面図)は、まちづくり交付金で整備する都市公園全てについて添付すること。また設定した地区及び地区内の整備箇所(交付金、単独問わず)については、整備方針概要図の中に明示すること。

公園(都市公園:その2)

ふりがな 公園名又は地区名	ただたこうえん 竹田公園
------------------	-----------------

地域の抱える課題に対する当該公園又は地区の役割

子供から高齢者まで幅広い年齢層から親しまれている竹田公園は、昭和36年の開設以来51年が経過し、施設の老朽化が進み改修整備が必要な状況である。広場や遊園、幼児・児童向けプールなどの利用者も多く、また、隣接する三隈川へは夏季に設置される鮎築場や河川環境整備が行われた川辺を散策する観光客が訪れるようになり、水辺に位置する快適な公園として一新し、日田市のイメージアップを図るもの。

用地取得計画(㎡)						施設整備計画(交付金事業で実施するもの) (*1)			
	まち交以前	まち交取得面積	残面積	合計	備考	施設名	規模、構造・工法等	特記事項	
買収						園路・広場 舗装	8980㎡	As舗装・脱色As舗装・レンガ舗装・クレイ舗装タイル・芝ブロック舗装	
(内買い戻し)						縁石	1700m		
国公有地						修景施設 橋	1基		
その他						流れ	258m		
合計						植栽(高木)	75本		
計画期間中の事業費						芝生	880㎡		
費 目		まち交以前	まち交事業費	残事業費	合計	備考	休養施設 ベンチ・シェルター	13基	
交付金事業費 (百万円)	用地費					遊戯施設 遊具	11基	フランク・健康遊具・複合遊具	
	施設費		447		447	運動施設 更衣室	1棟		
	計		447		447	便益施設 水飲み場	3基		
単独事業費 (百万円)	用地費						トイレ	1棟	
	施設費					管理施設 案内サイン	4基		
	計						車止め	60基	
合計 (百万円)	用地費						フェンス	180m	
	施設費		447		447		側溝	910m	
	計		447		447		照明	40基	
供用予定面積(㎡)			21,200		21,200				

事業箇所ごとに1枚作成すること。ただし、地区交付事業の場合は、地区ごとに1枚とする。

*1 「施設名」の欄には、都市公園法第2条及び施行令第5条に定められている公園施設の分類で記入。
地区交付事業の場合は、「施設名」に都市公園等の名称、「規模、構造・工法等」に種別及び面積(㎡)、「特記事項」に整備内容(主要施設)を記入する。
*2 青色で着色してあるセルは自動計算されるので入力しないこと。

公園(都市公園補助事業採択要件外)

公園等名(*1)	種別等(*2)	事業主体(*3)	概要(面積(㎡)等) (*4)	交付期間内 事業費(百万円)	交付期間内事業費内訳			備考(*5)
					設計費 (百万円)	用地費 (百万円)	施設整備費 (百万円)	
月限公園	地区公園	日田市	34,600	53			53	既駐車場の利用形態 の変更
合計	—	—	—	53			53	—

- *1 公園等名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
- *2 「種別等」欄には、都市公園の種別である「街区公園」、「近隣公園」、「地区公園」、「特定地区公園」、「総合公園」、「運動公園」、「動植物公園」、「歴史公園」、「広域公園」、「レクリエーション都市」、「風致公園」、「墓園」、「緩衝緑地」、「都市緑地」、「緑道」のいずれかを記入。
都市公園でない場合は「無」を記入し、「概要(面積等)」欄に制度上の位置付け(条例設置公園等)を簡潔に記載。
- *3 「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)
- *4 「概要(面積(㎡)等)」欄には、都市公園でない場合に公園としての制度上の位置づけを記入する他、計画面積(単位:㎡)等を記入すること。
- *5 「備考」欄には整備する主な施設(園路、植栽、あずまや、体験学習施設等)を簡潔に記載。
- *6 青色で着色してあるセルは自動計算されるので入力しないこと。

公園

竹田公園

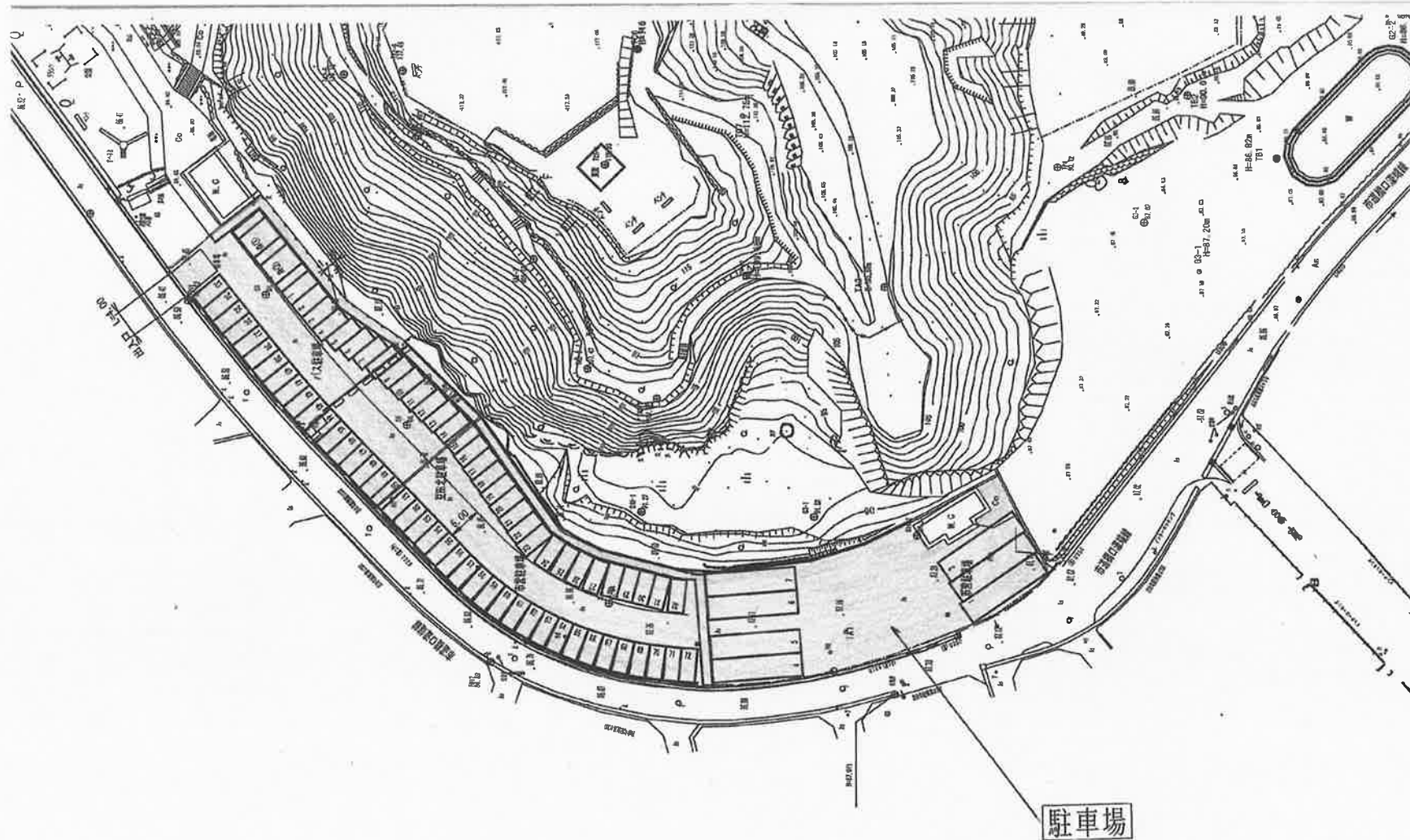
平面図



公園

月隈公園

平面図



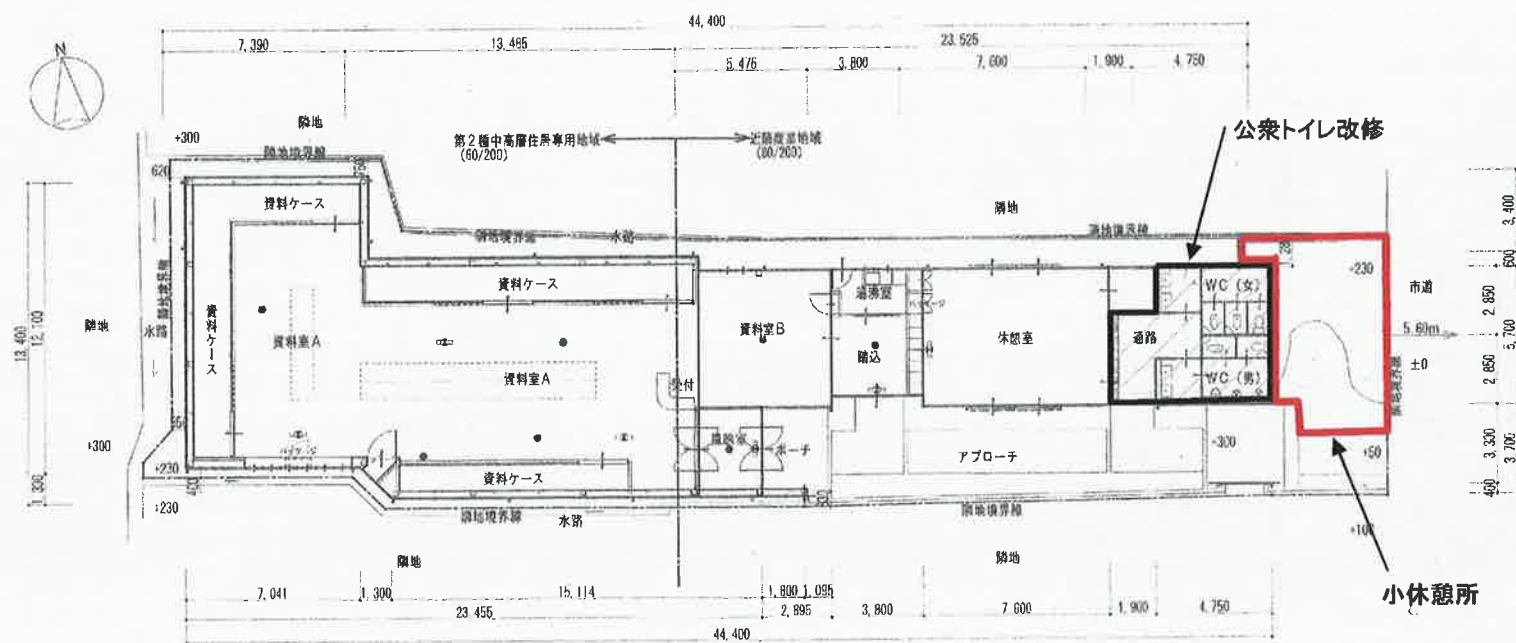
地域生活基盤施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳				備考
					設計費	用地費	施設整備費	うち購入費	
緑地	豆田地区小休憩所	日田市	A=20㎡	1			1	—	
広場	中城多目的広場	日田市	A=177㎡	35.3		11	24.3	—	
駐車場									
自転車駐車場									
荷物共同集配施設									
公開空地								—	
情報板	公共サイン	日田市	中心市街地の公共サイン整備(20ヶ所)	12			12	—	
地域防災施設	施設種別:							—	
合計	—	—	—	48.3	0	11	37.3	0	

- ・施設名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
- ・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)
- ・「駐車場」、「自転車駐車場」については、「概要」欄に、形式(立体〇層、タワーパーキング、地下駐輪場等)、面積及び駐車台数を記入。
- ・駐車場については、「備考」欄に駐車場全体の整備に要する費用を記入。
- ・自転車駐車場については、「備考」欄に都市計画決定の有無、自転車駐車施設整備計画における位置づけの有無、自転車駐車場に関する附置義務条例等における位置づけの有無を記入すること。
- ・地域防災施設の「施設名」欄には、耐水性貯水槽、備蓄倉庫、放送施設、情報通信施設、発電施設、排水再利用施設、避難空間等の施設の種別を記入。
- ・共同駐車場については、別の所定のシートに記載すること。

敷地面積	604.77 m ²	床面積	365.54 m ²	建築面積	379.98 m ²
		容積率	60.44 %	建築率	62.81 %
許容建築面積		第2種住専	289.1768×60% = 161.506 m ²		
429.99 m ²		近隣商業	335.5979×80% = 268.478 m ²		

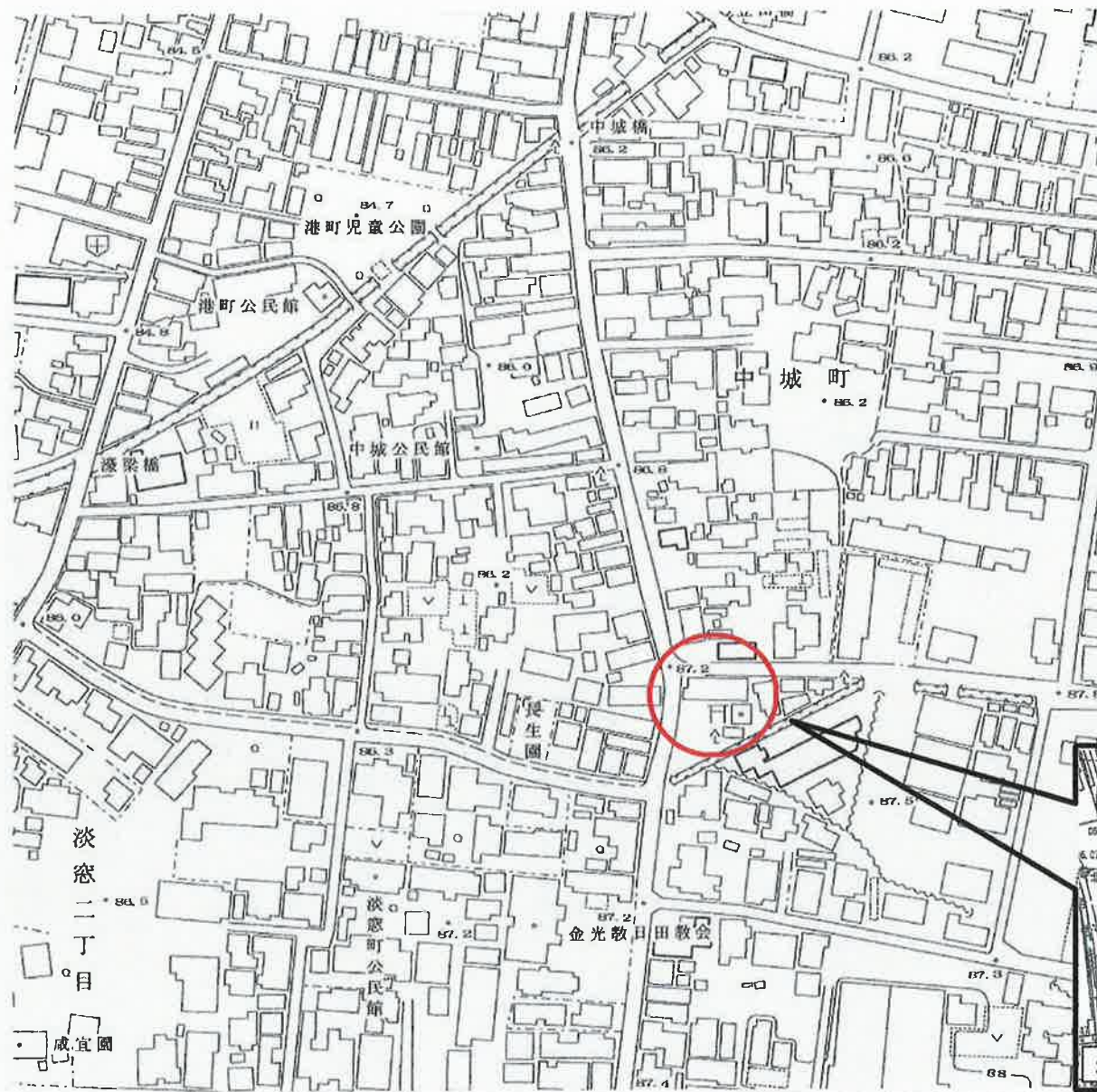


配置図 S-1/200

地域生活基盤施設

中城多目的広場

平面図



広場イメージ



トイレイメージ

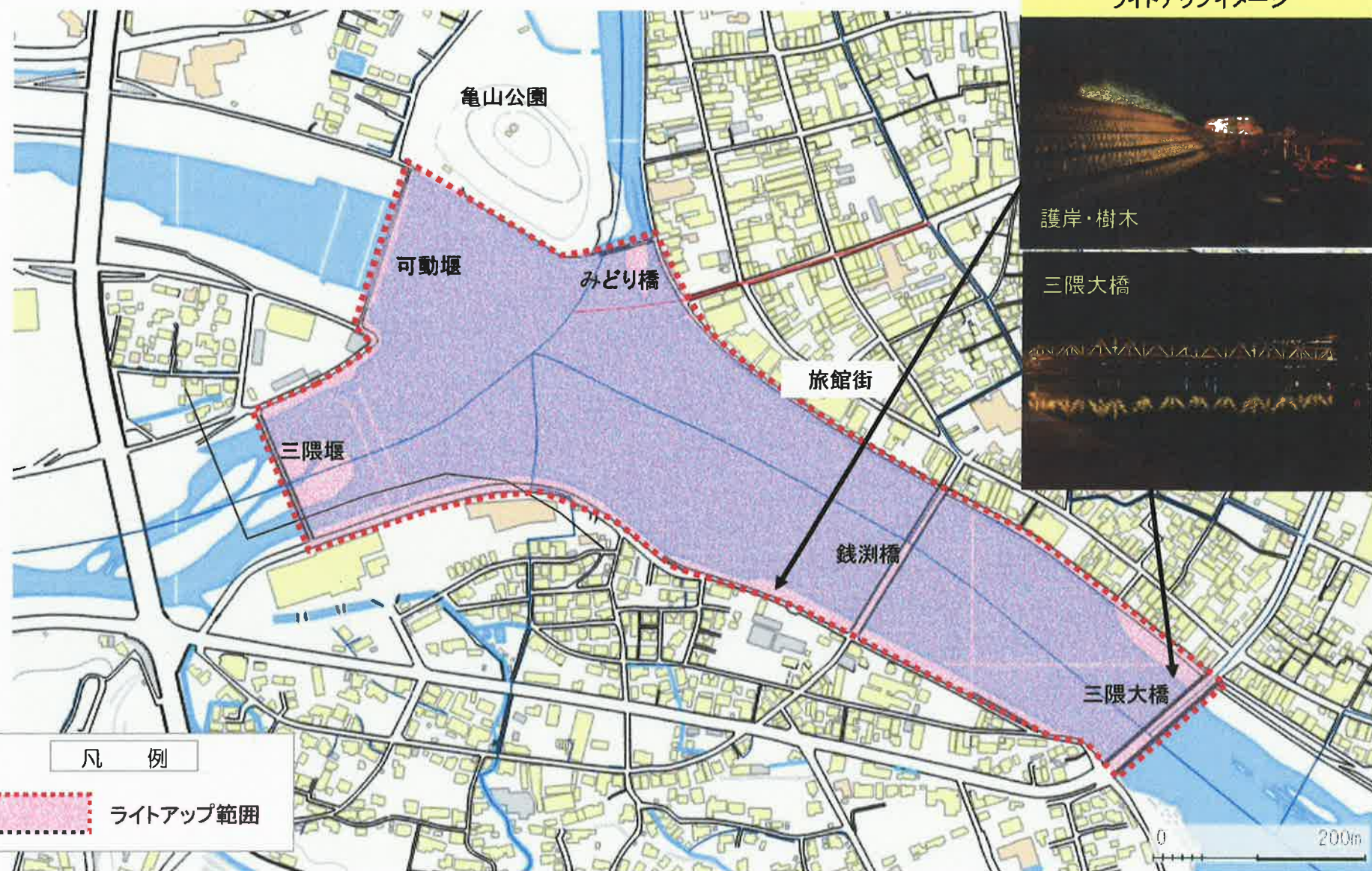


拡大図

高質空間形成施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、ストリートファニチャー・モニュメント等)	三隈川周辺ライトアップ整備	日田市	・亀山公園～三隈大橋間のライトアップ ・LEDスポットライト50基	53	3		50	
	街路灯整備(中央商店街)	中央商店街振興組合	街路灯整備 65基	58			58	
	街路灯整備(駅前通り商店街)	駅前通り商店街振興組合	街路灯整備 70基	67.8			67.8	
	豆田地区トイレ改修	日田市	1箇所(A=40㎡)	19	2		17	
	桂林荘公園トイレ整備	日田市	1箇所	10.8			10.8	
	JR日田駅トイレ整備	日田市	1箇所(A=58㎡)	40	2.5		37.5	
電線類地下埋設施設								
電柱電線類移設								
地域冷暖房施設						—	—	
歩行支援施設、障害者誘導施設等								
合計	—	—	—	248.6	7.5	0.0	241.1	

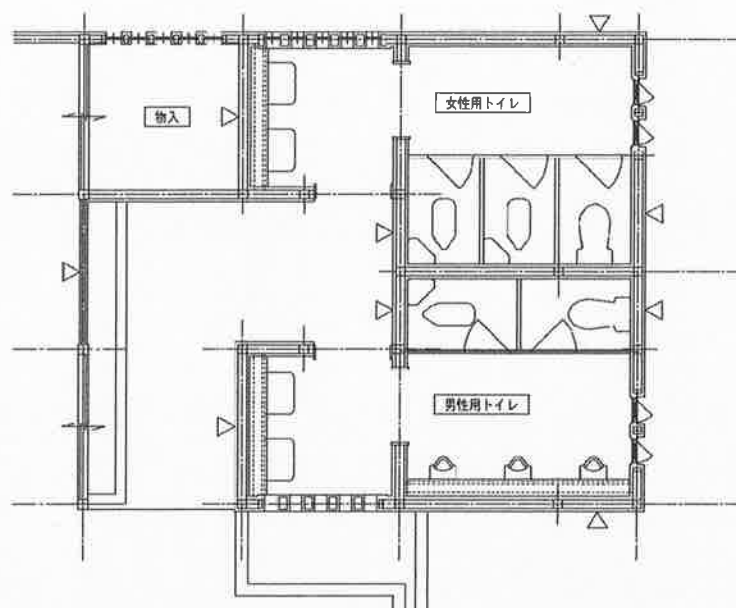


高質空間形成施設

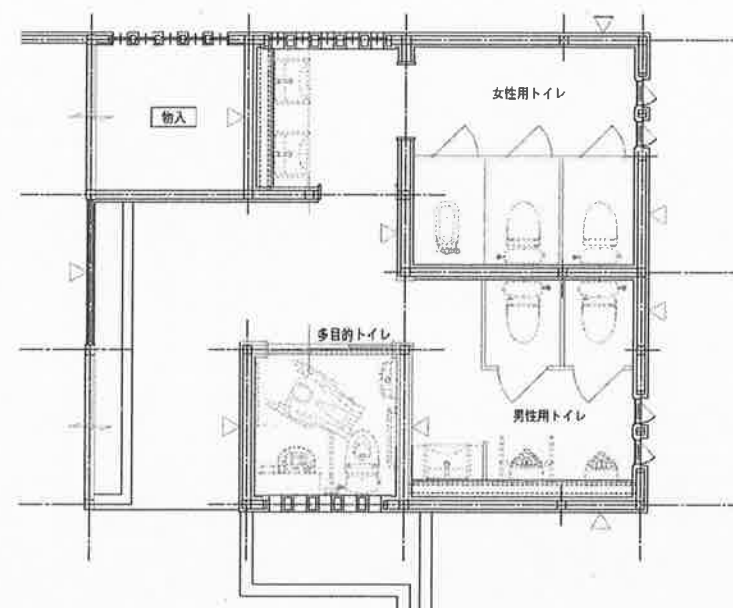
街路灯整備
(中央商店街・駅前通り商店街)

平面図





改修前



改修後

多目的トイレ 機器表		
車いす対応便器		ベビーシート
付ーレスト		拭拭いボード
付コ		コボラ平洗器
紙巻器		
し便手すり		
はね上げ手すり		

	平成 23 年度	日 田 市	課 長	係 長	係 員	設計図	縮 尺	図 番
	設計 H23年11月							

高質空間形成施設

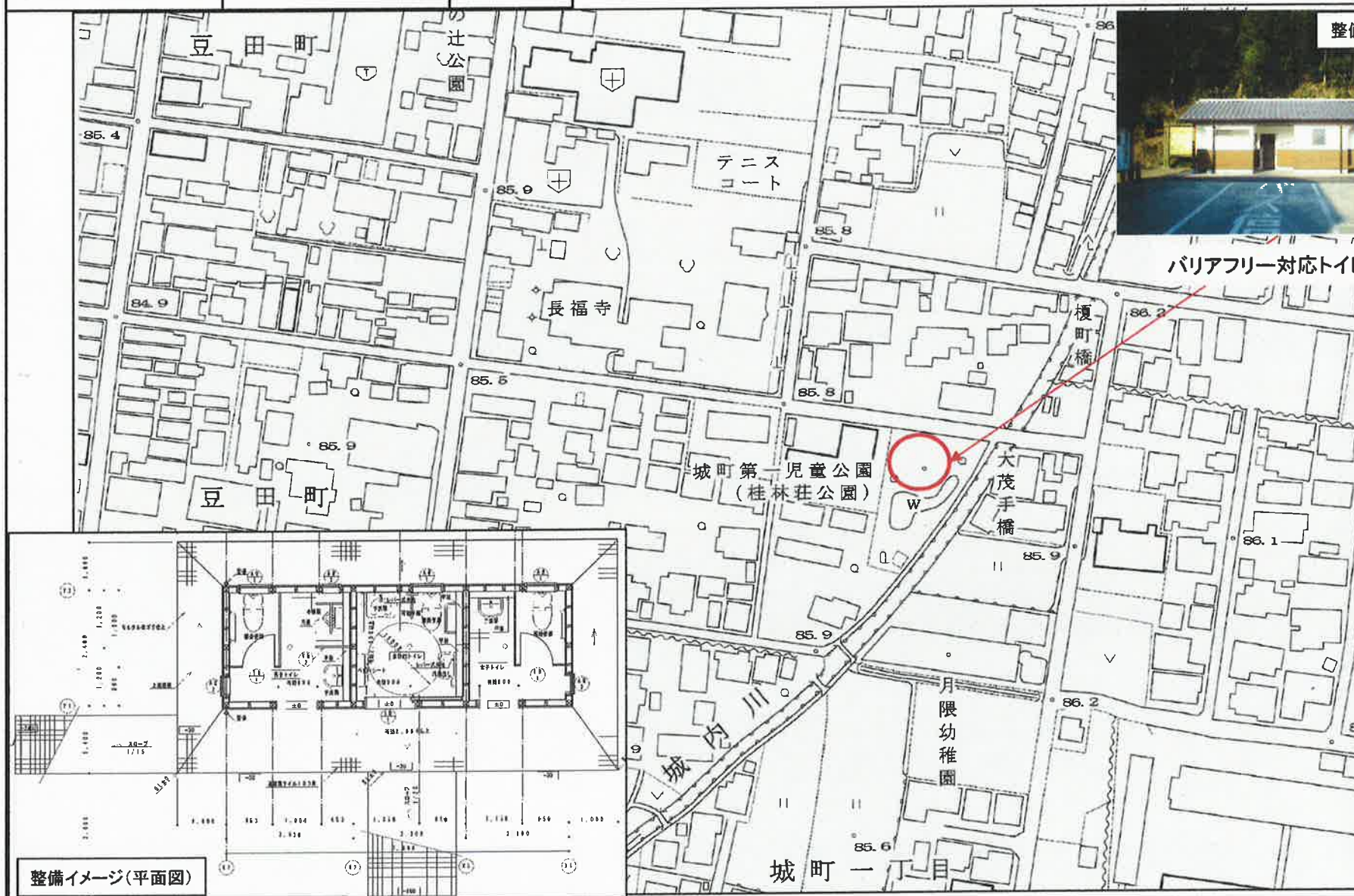
桂林荘公園トイレ整備

平面図

整備イメージ

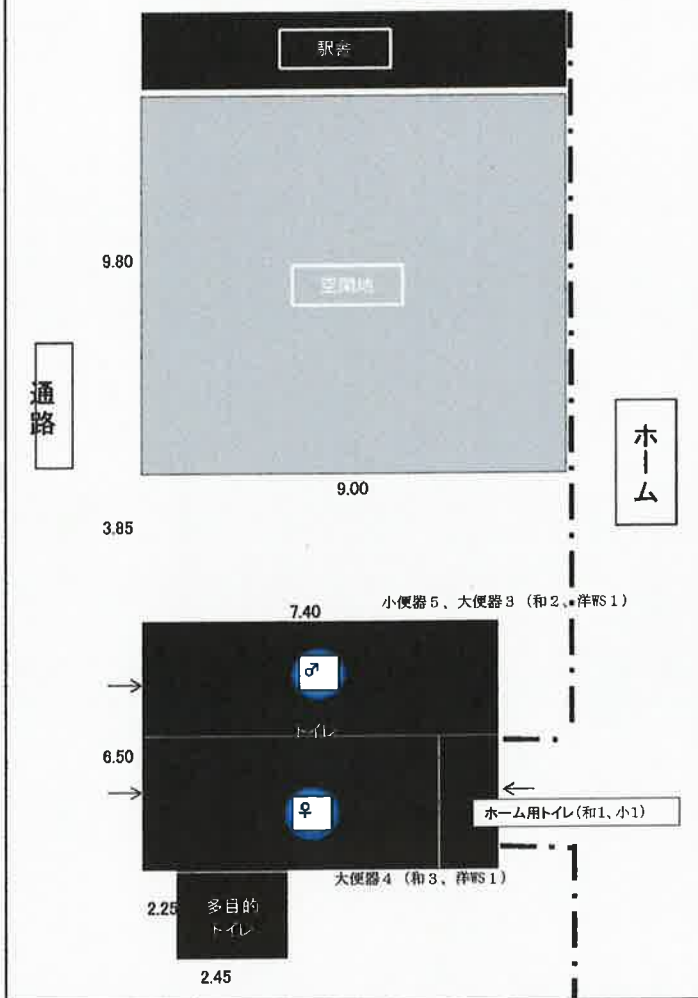


バリアフリー対応トイレ 1箇所

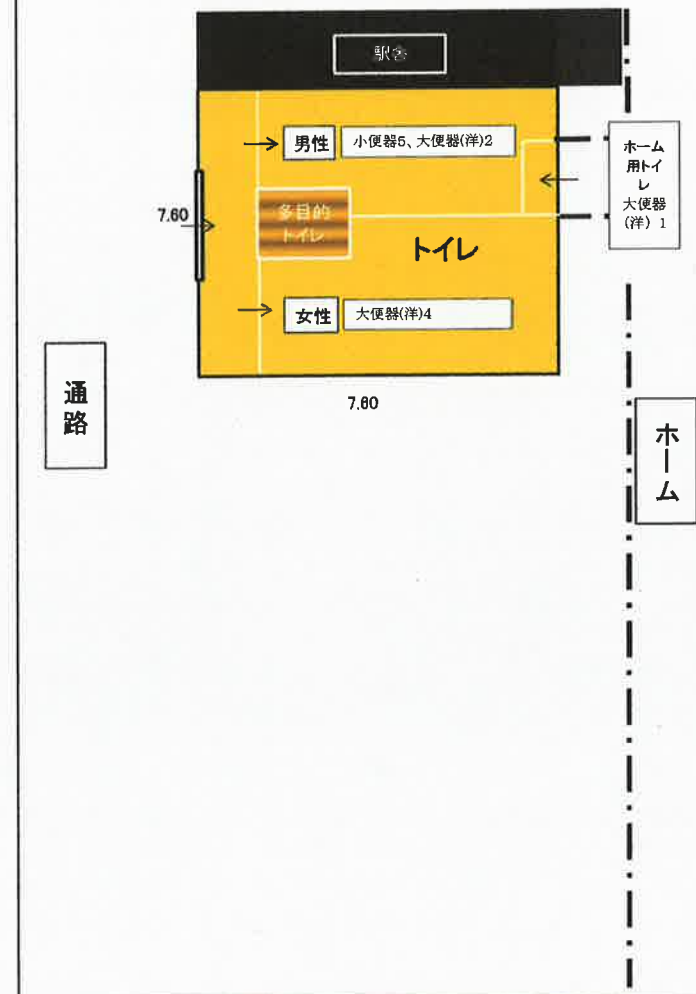


整備イメージ(平面図)

日田駅トイレ 現況図



日田駅トイレ 改修計画図



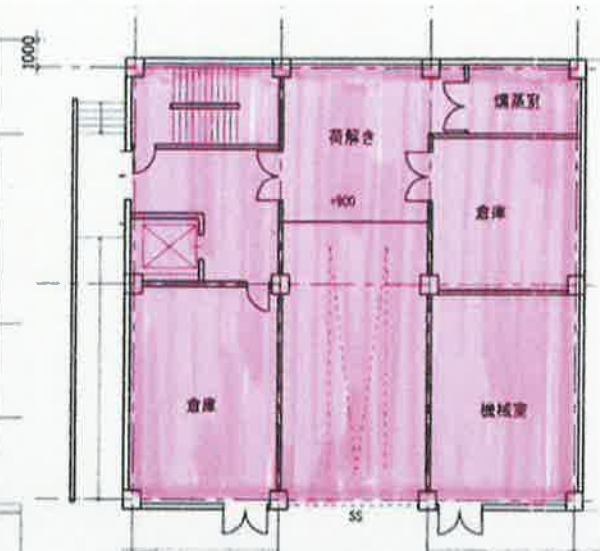
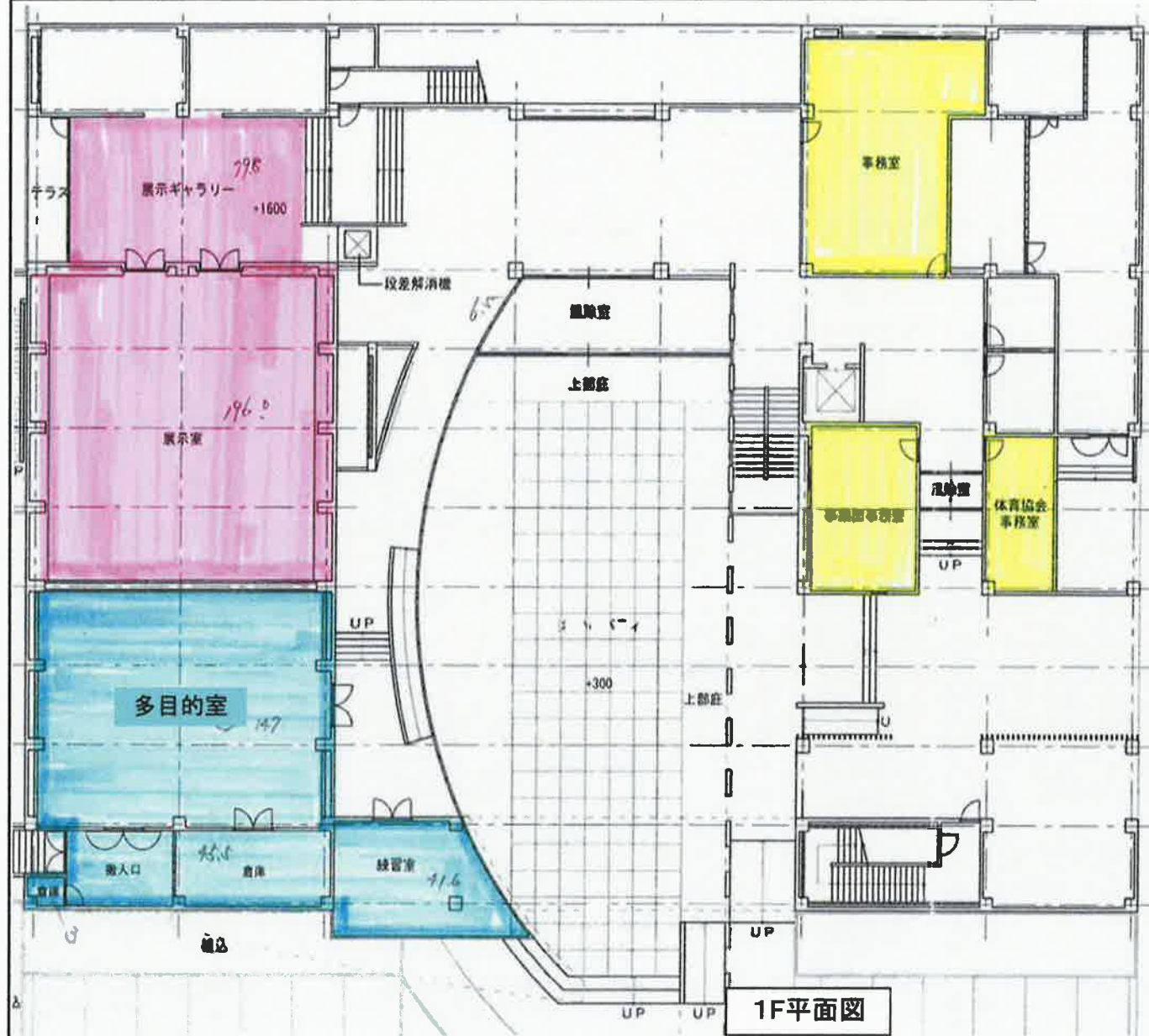
■地域交流センター、観光交流センター、まちおこしセンター、子育て世代活動支援センター、複合交通センター

[illegible]

高次都市施設

複合文化施設

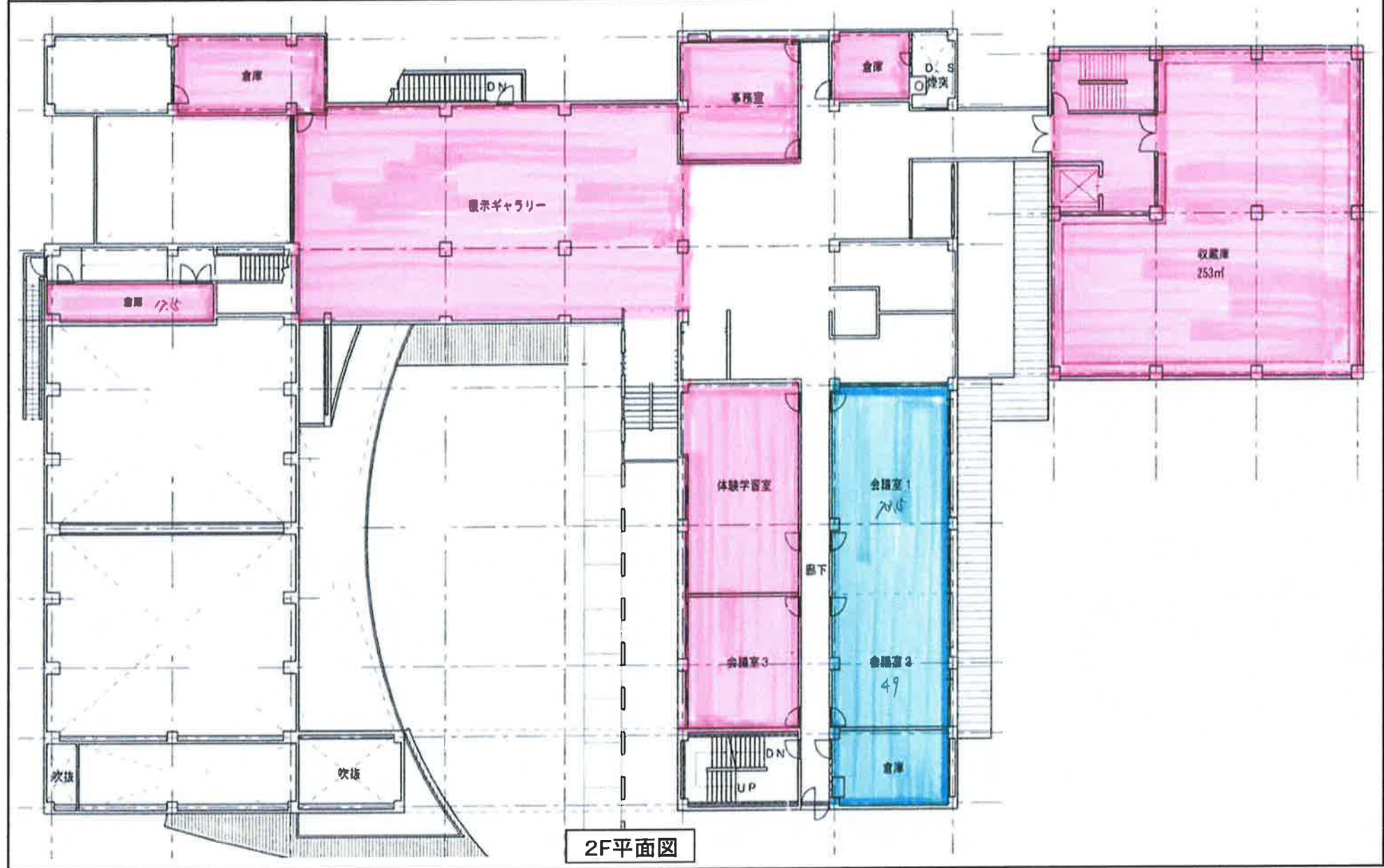
平面図



高次都市施設

複合文化施設

平面図



高次都市施設

複合文化施設

平面図



事業活用調査・まちづくり活動推進事業・地域創造支援事業

(單位:百萬元)

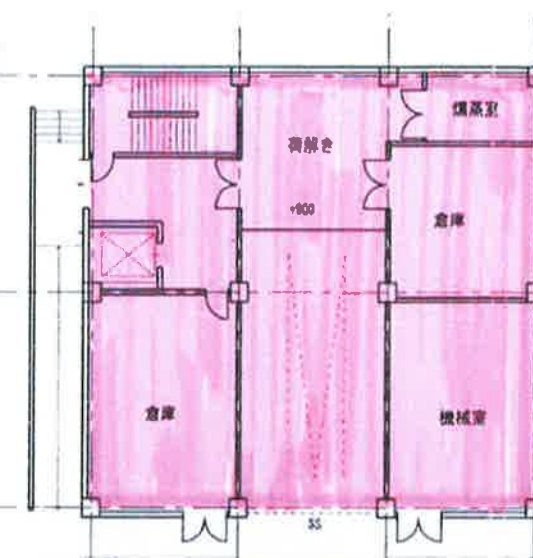
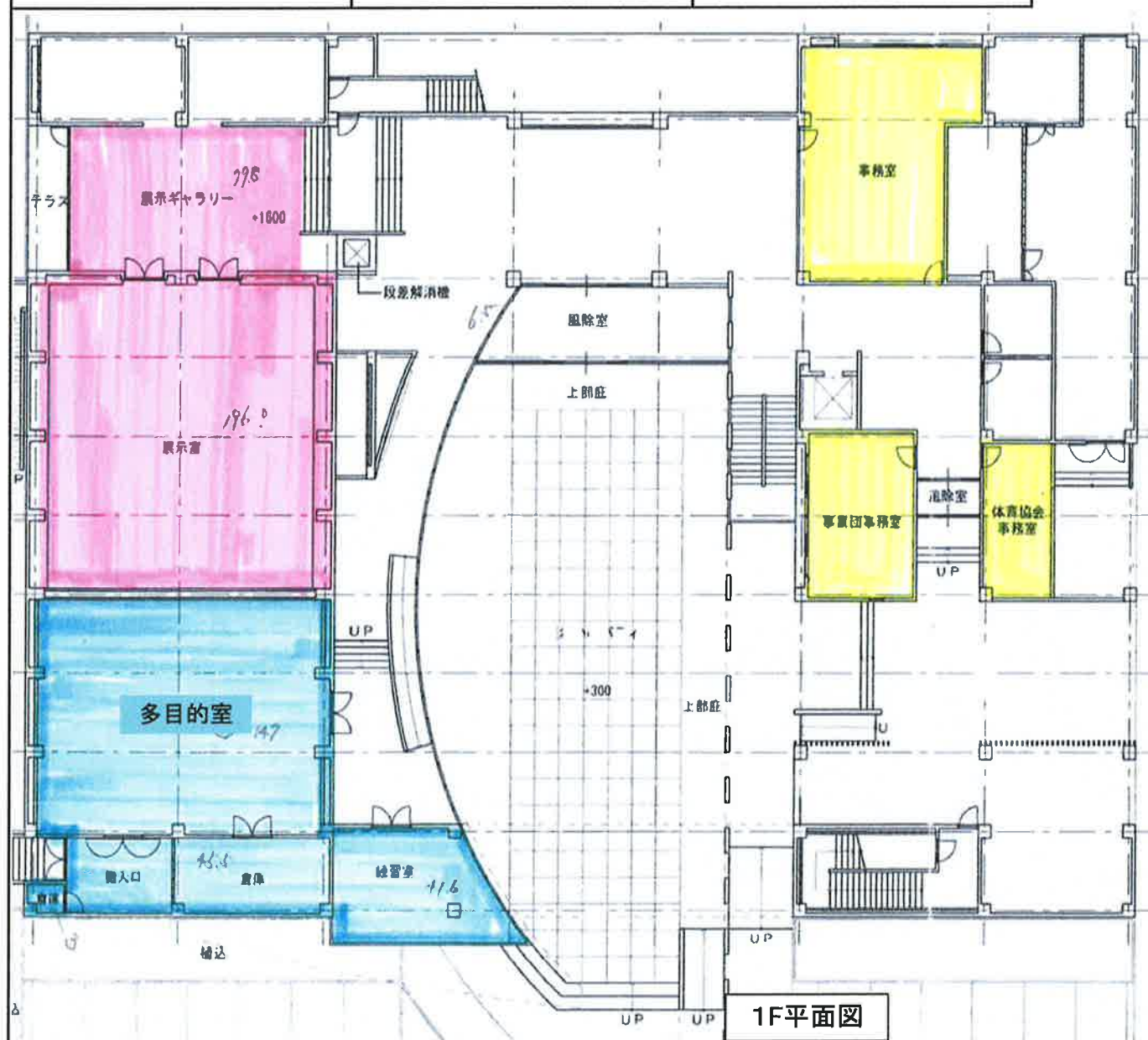
[illegible]

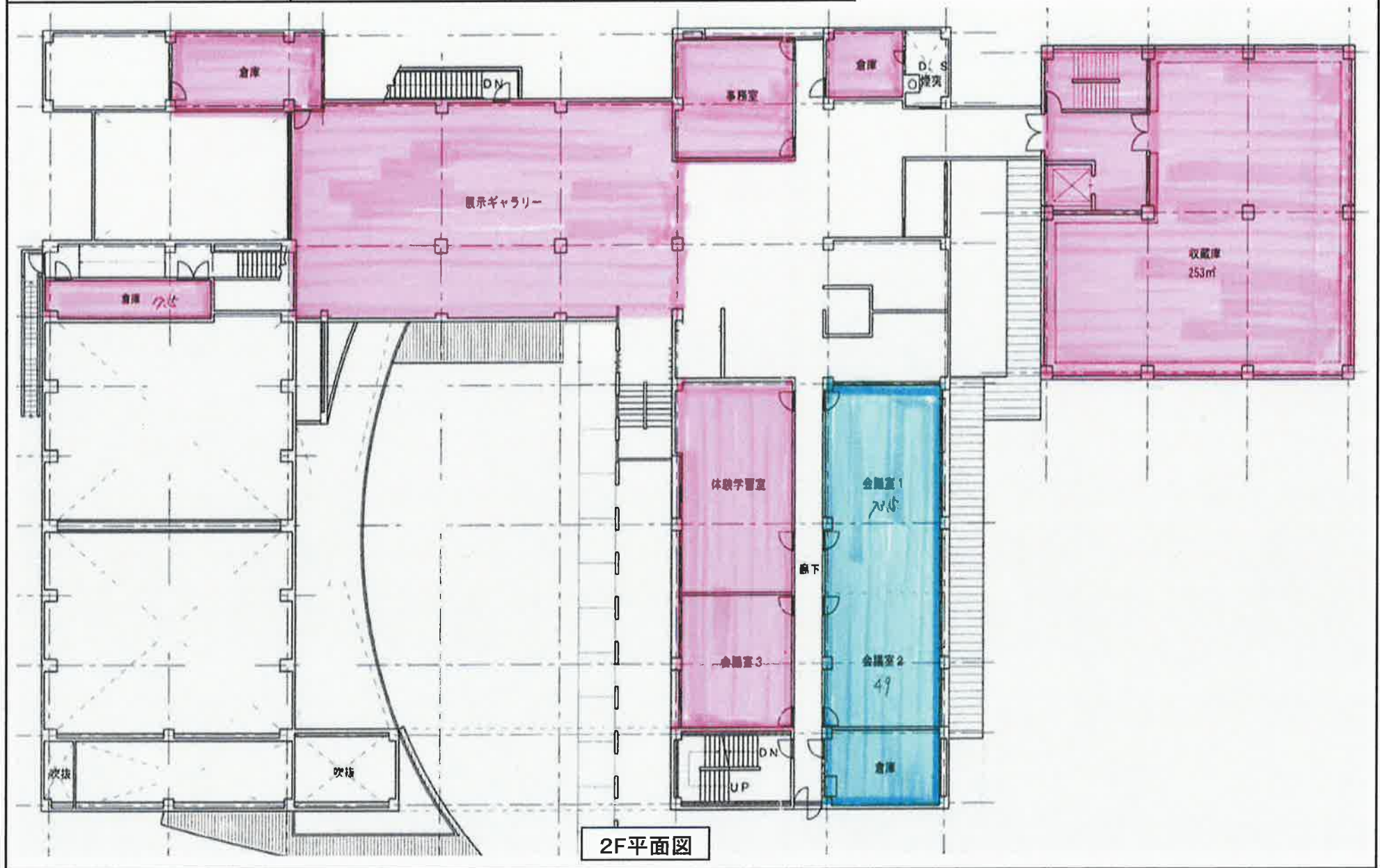
地域創造支援事業

屋形船修復事業

イメージ図









3F平面図